

## 第99回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開催年月日 平成28年12月16日(金)

開催場所 北海道運輸局6F会議室

□議 題□

### 1. 審議事項

なし

### 2. 報告事項

- (1)最低賃金専門部会審議状況について
- (2)管内船員職業安定業務取扱状況(平成28年11月分)について
- (3)離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて
- (4)離職四法に基づく求職者手帳発給数及び支給実績について

### 3. その他

情報交換

□議事概要□

1. 事務局より、最低賃金専門部会審議状況について、平成28年12月13日に第1回北海道内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会が開催され、審議の結果第2回部会で再度審議することとなったとの報告があった。事務局より、平成28年11月分の管内船員職業安定業務取扱状況について報告があった。労働者委員より、11月にあった漁業実習船の求人は正規雇用であるかとの質問があり、事務局より、常用雇用であるとの回答があった。公益委員より、練習船、実習船を希望する求職者は見つけ難いのかとの質問があり、事務局より、練習船、実習船を希望する求職者は少ない、その理由として給料が他の業種と比較すると高くないことが考えられるとの回答があった。公益委員より、練習船や実習船ではどのような仕事を行うのかとの質問があり、労働者委員より、生徒に対し遠洋マグロ等の漁業を教えながら見せる等の指導を行っているとの回答があった。労働者委員より、タンカーの司厨手、司厨長で4人の求人が出ているが、これは同じ会社からの求人であるかとの質問があり、事務局より、系列的な2社からの求人であるとの回答があった。公益委員より、離職四法に基づく減船離職船員で入院中の方は求職中という扱いになるかとの質問があり、事務局より、働けない状態であり就職できない状況である、給付金の給付要件の一つとして働く能力があることが求められており、入院中の場合は給付金の支給要件に当てはまらないとの回答があった。使用者委員より、11月に旅客船の新規求人が無かった理由について質問があり、事務局より、フェリー関係の求人が未済求人に計上されているとの回答があった。公益委員より、函館のフェリー会社は求人をして人も人が集まらないのかとの質問があり、労働者委員より、青森～函館航路のフェリーは求職者が少ない、また短距離で入出港が多く多忙であるとの回答があった。公益委員より、船員は人手不足と聞いているが求人募集の際に賃金が上がる傾向はあるかとの質問があり、労働者委員より、賃金の上昇は労働協約の改定により発生するので求人を出す際に賃金を上げることは無いとの回答があった。公益委員より、11月の60歳以上の求職者の希望状況について質問があり、事務局より、商船希望が5名、漁船希望が7名である、また漁船については地元の船を希望する方が多く、地元以外の求人を紹介しても多少条件が良い場合でも成立しづらいとの回答があった。

2. 次回の船員部会は平成29年1月27日(金)13時30分より開催することを確認した。

(以上)

北海道運輸局海事振興部船員労政課